

N-24 地方都市と大都市における交通需要管理策に対する意識の比較分析

徳島県庁 正会員 岡部 寛
 徳島大学工学部建設工学科 正会員 山中英生
 神戸商船大学 正会員 小谷通泰

1. はじめに

近年、交通需要管理策の研究が盛んに行われており、TDMの有用性が明らかになっている。しかし地方都市においては、交通の現実にあったTDMの検討が十分な状況ではない。

そこで、本研究は徳島市と神戸市の交通の有識者を対象にTDM施策のアンケート調査を行い、地方都市と大都市でのTDMの必要性について比較するとともに、都市規模によるTDM施策のあり方について比較検討することを目的としている。

2. アンケート調査の概要

表-1にアンケート調査の概要を示す。アンケートの対象は行政では都市計画、設計・技術、環境政策、交通管理関係者に、企業では技術関係者に、コンサルタントでは都市地域計画の関係者に直接手渡しした。回答者の普段の自動車の利用状況は、徳島市では週1回以上利用している人が98%であるのに対して、神戸では75%となっていた。

表-1 調査の概要

	徳島市	神戸市
調査年月	96年1月	96年11月
調査対象	行政・企業・コンサルタント	
配布回収法	郵送および手渡し	
サンプル数	57	27
行政	47	18
企業	6	1
コンサルタント	4	6（その他2）

3. TDMの必要性について

(1) TDMの必要度

図-1に両市のTDMが必要と考える人の割合を示す。大いに必要であるが徳島市は76%、神戸市は85%、少しは必要であるが徳島市は22%、神戸市は15%となっており、地方都市においても大都市と変わらず、TDMを必要と考えている人の割合が高いことがわかる。

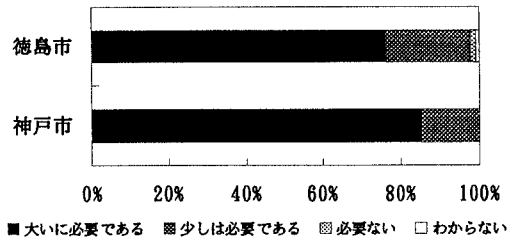


図-1 TDMの必要度

(2) TDM導入の目的

図-2にTDM導入の際の目的における重要度の割合を示す。渋滞の解消・効率的で利便性の高い交通の確保を1位にあげる人が、徳島市では86%であるのに対して、神戸市では52%と低い。環境負荷の低減・地球環境問題への対応を1位にあげる人が徳島市では8%であるのに対して、神戸市では30%となっている。自動車に乗れない人の交通機会の確保は、徳島市では1位にあげる人がいないのに対して神戸市では8%いる。都心商業の活性化は両市とも1位にあげる人は少ない。市民の健康確保・保護では神戸市の方が重要視している。このように地方都市では渋滞の解消が大きな目的であるのに対して、大都市では渋滞解消に並んで、環境負荷の低減が大きな目的となっていることがわかる。

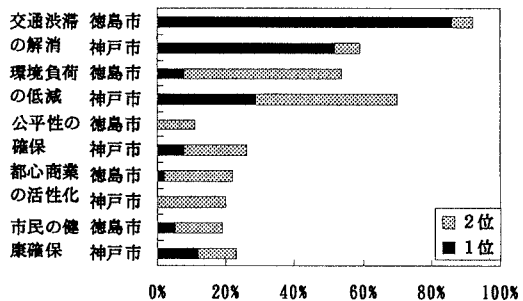


図-2 TDM導入の目的

キーワード：交通需要管理策，地方都市，大都市
 〒770 徳島市万代町1-1 TEL 0886-98-3465
 〒770 徳島市南常三島町2-1 TEL 0886-56-7350 FAX 0886-56-7351
 〒770 神戸市東灘区深江南5-1-1 TEL 078-431-6260 FAX 078-431-6260

4. 有識者による評価から見たTDM施策の特徴

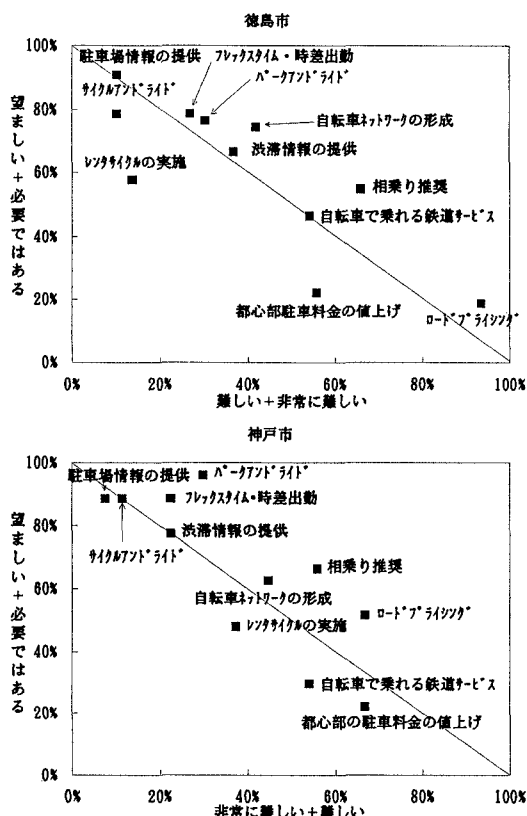


図-3 困難度と適性度の相関関係

(1) 困難度と適性度から見た相関関係

図-3にTDM個別施策に対して、非常に難しい+難しい（以下、困難度）と考える人の割合と望ましい+必要ではある（以下、適性度）と考える人の割合を示す。両市とも困難度の高い施策は適性度が低い関係が見られる。徳島市では自転車ネットワークの形成、相乗り推奨、ロードプライシングが困難度に対して適性度がやや高くなっている。しかし、ロードプライシングは困難度が高いと考えられている。神戸市ではパークアンドライド、フレックスタイム・時差出勤、相乗り推奨、ロードプライシングが困難度を適性度が上回っている。また、ロードプライシングは困難度が低くなっている。このように地方都市においては、自転車利用促進策が適していると考えられるが、大都市においてはパークアンドライドが最も適性度が高くなっている。

(2) 適性度と賛成度から見た相関関係

図-4に同じ困難度から見た適性度と賛成+大い

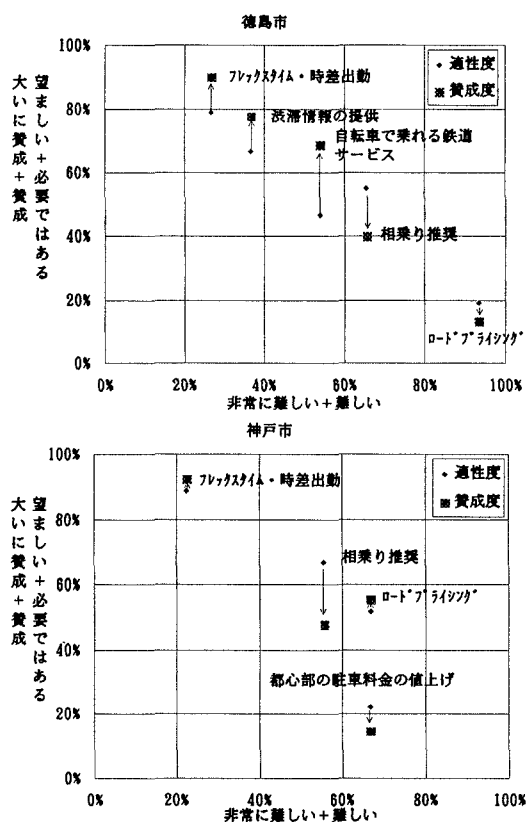


図-4 適性度と賛成度の違い

に賛成（以下、賛成度）が大きく異なる施策を示す。相乗り推奨は両市とも適性度に対して賛成度は低くなっている。ロードプライシングは徳島市では賛成度が低いのにに対して、神戸市では賛成度が高くなっている。また、徳島市では自転車を持ったまま鉄道に乗れるサービスを行うことに賛成度が高い。フレックスタイム・時差出勤は、両市とも適性度、賛成度が高い。

5. おわりに

本研究で、地方都市と大都市におけるTDMの受けとめ方の違いと、実施上の困難度の視点から見た適性度と賛成度の相関関係を明らかにできた。今後は、地方都市におけるパッケージアプローチの可能性について、組み合わせ方や組み合わせ数の視点から検討を行う必要があると思われる。

【参考文献】

- 1) 小谷通泰, 滝沢武範, 秋田直也: ロードプライシング導入に対する一般ドライバーの評価意識に関する一考察, 第49回年次学術講演会論文集1994. 3. pp626-627